

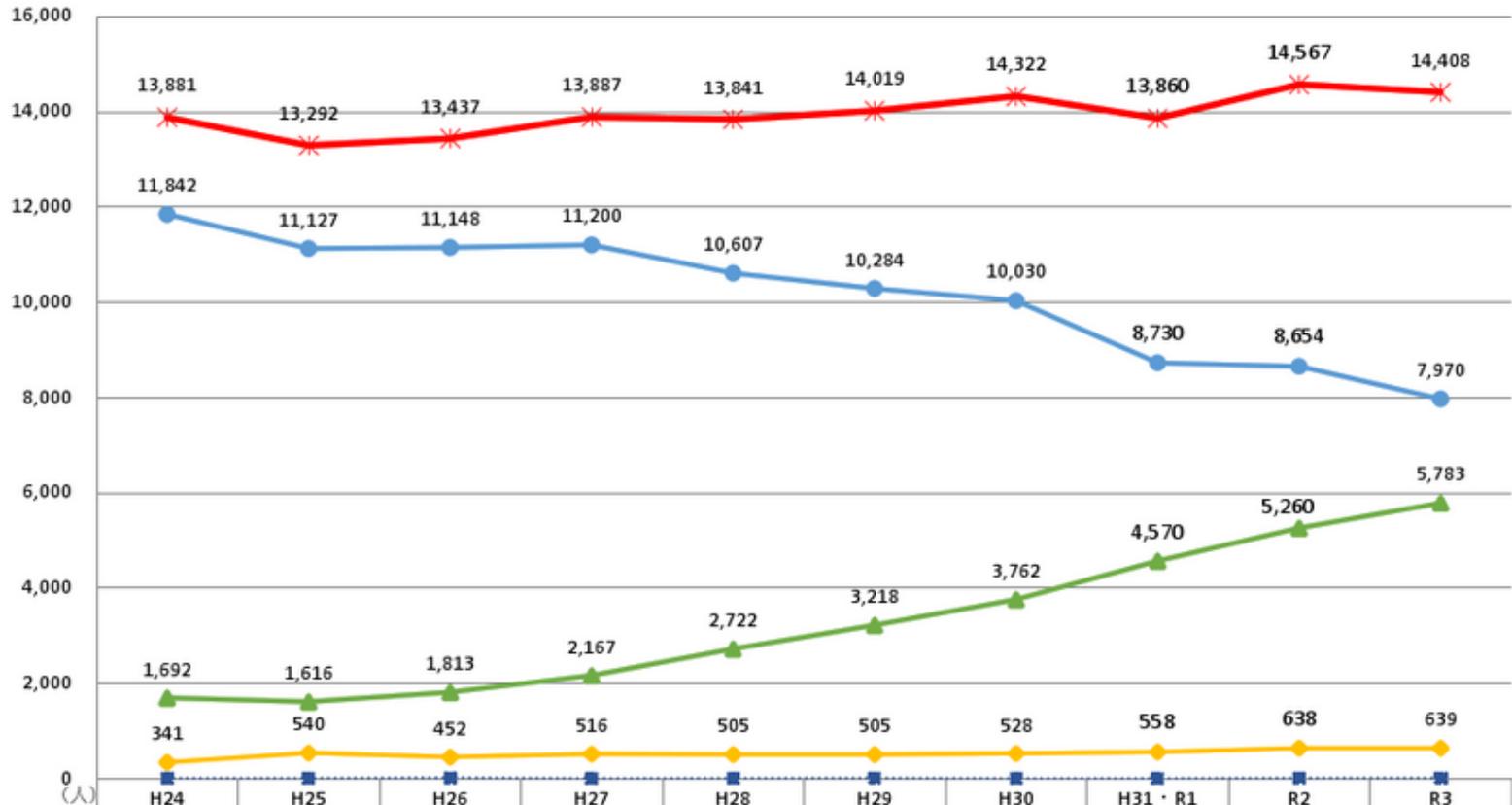
薬物乱用防止について

薬物乱用は
「ダメ。ゼッタイ。」

令和5年度小林保健所運営協議会

(厚生労働省ホームページ 薬物乱用防止に関する情報等資料一部引用)

薬物事犯検挙人員の推移



● 覚醒剤	11,842	11,127	11,148	11,200	10,607	10,284	10,030	8,730	8,654	7,970
▲ 大麻	1,692	1,616	1,813	2,167	2,722	3,218	3,762	4,570	5,260	5,783
◆ 麻薬・向精神薬	341	540	452	516	505	505	528	558	638	639
⋯ あへん	6	9	24	4	7	12	2	2	15	16
✱ 全薬物事犯	13,881	13,292	13,437	13,887	13,841	14,019	14,322	13,860	14,567	14,408

宮崎県 大麻・覚醒剤事犯検挙者数

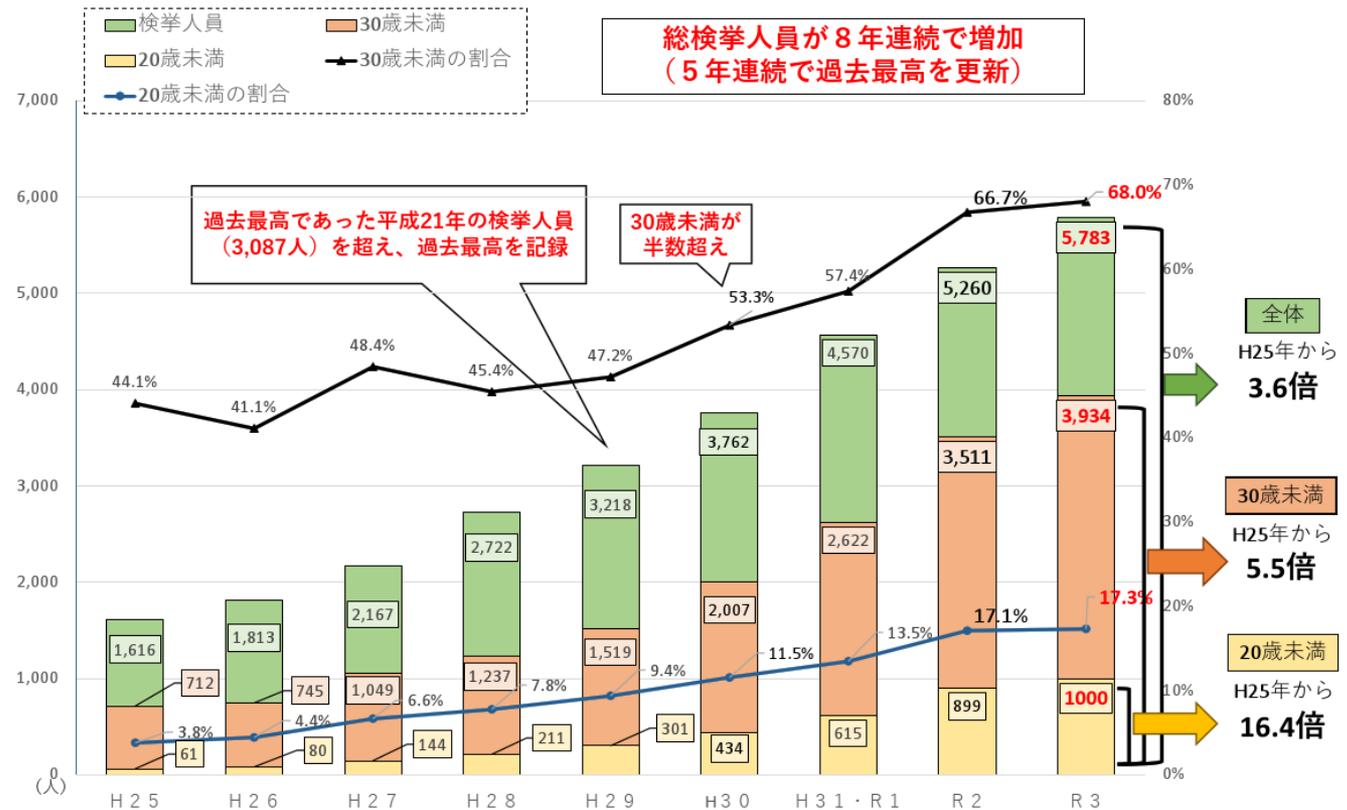
県警察本部組織犯罪対策課資料引用

年	大麻事犯検挙者数	覚醒剤事犯検挙者数	令和4年宮崎県年齢別検挙者数	大麻事犯検挙者(46名)	覚醒剤検挙者(42名)
平成30年	40	41	～19歳	1	0
令和元年	38	32	20代	24	1
令和2年	57	37	30代	12	5
令和3年	47	36	40代	8	21
令和4年	46	42	50代以上	1	15

大麻

大麻は、検挙者数が年々増加傾向にあり、特に10代、20代の割合が増えている。やる気がなくなる、学習能力や記憶力が低下するなど、脳の機能に悪い影響を及ぼすことが分かっている。また、大麻の使用は覚醒剤やコカインなど、他の薬物乱用の危険性とも関わっている。インターネットによる情報に惑わさず、正しい知識を身につけることが大切。

大麻事犯における検挙人員の推移（年齢別）



薬物乱用防止教室

なぜ、薬物乱用は
いけないのか。

乱用が大切な脳を傷つける



薬物乱用で変化してしまった脳は、
使う前の状態に戻ることはありません。

薬物乱用防止教室

SNSでの薬物の誘いに注意！

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻などを意味する隠語などを使って購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されており、大きな問題となっています。

SNSを通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。



薬物に 近づかない

- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つ。



断るのに理由はいらない

- 悩んだときは、まず相談！



**信頼できる大人に相談、
保健所、精神福祉センター等**

啓発活動

- 薬物乱用防止指導員小林地区協議会・研修会の開催
管内の薬物乱用防止指導員（10団体32名）
- 啓発資材の配布
- 「こばやし秋まつり」会場における啓発活動



こばやし秋まつり2022

保健所の取り組み

- 薬物乱用防止教室の開催
- 地域住民に対する啓発
- 「覚醒剤・シンナー等相談窓口」事業の実施

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」